

令和3年6月23日

## 株主各位

名古屋市中区錦三丁目6番15号先  
名古屋テレビ塔株式会社  
代表取締役 大澤和宏

### 第68期定時株主総会決議ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本日開催の当社第68期定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されましたのでお知らせ申し上げます。 敬具

#### 記

報告事項 第68期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）  
事業報告の件  
本件は、上記事業報告の内容について報告いたしました。

#### 決議事項

第1号議案 第68期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）  
計算書類承認の件  
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案 取締役10名選任の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、取締役に大澤和宏、若山 宏、大村秀章、河村たかし、石黒大山、横井正彦、杉浦正樹、真能秀久、田辺雅泰の9氏が再選され、新たに勝野 哲氏が選任されそれぞれ就任いたしました。

以上

---

なお、本総会終了後開催の取締役会におきまして、代表取締役、社長に大澤和宏、常務取締役に若山 宏が再選され、それぞれ就任いたしました。

# 事業報告

令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は、17年間にわたり「MIRAI TOWER」を理念として進めてきた再生事業は、1年8か月かけた全体改修工事が令和2年9月に竣工し、同月18日に久屋大通パークとともにグランドオープンしました。オープン直後は久屋大通パークを含めて久しぶりの賑わいとなりました。しかし、昨年来、全国的に広がったコロナ感染者数は、当地域におきましても春の第1回緊急事態宣言に続き、10月中旬頃から増加傾向となり、令和3年1月8日から2月28日まで第2回目の緊急事態宣言が発せられ、久屋大通パークの賑わいも一気に減少し、当社の展望予約が全てキャンセルになるなど集客数へ大きな影響が出ました。また、国及び愛知県の要請により営業時間及びライトアップ時間の短縮を行いました。一方、栄地域では、中日ビルの解体工事が完了し、建設が始まると同時に地下街セントラルパークのリニューアルや栄交差点に新商業施設「BINO栄」のオープンなど新しい動きが始まりました。

このような状況の中、令和3年元旦には、休業前まで毎年開催していた「初日の出」展望を再開。開催においてはコロナ感染予防に配慮し前売券のみの150名限定といたしました。ライトアップでは2月に「がん撲滅キャンペーン」、3月には「てんかん啓発パープルデー」、また、「煌」を利用したタワービジョンもグランドオープンと同時に開始しましたが、1月から3月にはコロナ感染拡大の影響を受け、利用者数が減少いたしました。塔内のコロナ感染予防対策としては、入口での検温、マスク着用の確認などの他、エレベーター内と各階トイレに抗菌・抗ウイルスコーティング施工(光触媒による抗菌)を行い、来場いただいたお客様により安全で、かつ快適にお過ごしいただくよう適切な措置を行っています。

また、令和3年5月から中部電力株式会社へのネーミングライツ(命名権)の付与について3月24日にプレスリリースを行い、地域共生活動におけるパートナー「中部電力 MIRAI TOWER」としてスタートすることを発表いたしました。

この結果、当期における有料入場者数は74,745人、無料を含む総入場者数は205,466人となりました。当期における売上高合計は163,844千円(前年は休業)、販売費及び一般管理費合計は258,921千円(前年に比べ大幅増)となり、営業損失95,076千円、当期純損失297,895千円となりました。

令和3年度は、新しい事業の開発の実現、地域共生パートナーと連携した活動、経費削減に努め経営の安定維持に全力を上げてまいります。当社にとりましてMIRAI TOWERとして新しいスタートとなる大きな転換点となり、免震整備を完了し長寿命化が可能となった世界的文化財として未来を繋ぐタワーをめざしてまいります。引き続き名古屋のシンボルとして画期的な新しい魅力を加えるとともに栄地区の活性化の起爆剤として貢献できるよう役職員一同全力をあげる決意でございます。引き続き、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

# 貸借対照表

令和 3 年3月31日現在

名古屋テレビ塔株式会社

(単位・円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 452,608,342 】	【流動負債】	【 307,076,297 】
現金及び預金	224,296,507	一年以内返済長期借入金	136,492,000
売掛金	723,000	一年以内償還社債	8,000,000
未収入金	5,687,484	未払金	139,391,468
貯蔵品	312,900	未払費用	10,217,258
前払費用	1,753,996	未払法人税等	283,100
未収還付法人税等	52,617	前受金	12,062,202
立替金	117,304	預り金	630,269
未収消費税等	219,664,534	【固定負債】	【 2,667,128,445 】
【固定資産】	【 2,542,082,068 】	長期借入金	2,440,562,000
(有形固定資産)	( 2,499,745,810 )	長期未払金	12,300,000
建物	1,603,140,969	預り保証金	195,522,420
建物附属設備	803,238,090	退職給付引当金	18,744,025
構築物	30,948,244	負債合計	2,974,204,742
機械及び装置	2,370,727	純資産の部	
器具及び備品	56,636,790	【株主資本】	【 20,485,668 】
建設仮勘定	3,410,990	資本金	80,000,000
(無形固定資産)	( 1,416,084 )	(資本剰余金)	( 223,800,000 )
商標権	1,416,084	資本準備金	161,900,000
(投資その他の資産)	( 40,920,174 )	その他資本剰余金	61,900,000
投資有価証券	10,000,000	(利益剰余金)	( △ 283,314,332 )
出資金	40,000	利益準備金	20,000,000
長期前払費用	30,880,174	その他利益剰余金	△ 303,314,332
		別途積立金	50,500,000
		繰越利益剰余金	△ 353,814,332
資産合計	2,994,690,410	純資産合計	20,485,668
		負債・純資産合計	2,994,690,410

# 損益計算書

自 令和 2 年4月 1 日  
至 令和 3 年3月31日

名古屋テレビ塔株式会社

(単位・円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
入 場 料 収 入	54,907,589	
賃 貸 料 収 入	93,006,049	
広 告 料 収 入	15,930,800	163,844,438
売 上 総 利 益		163,844,438
【販売費及び一般管理費】		258,921,097
営 業 損 失		95,076,659
【営業外収益】		
受 取 利 息 ・ 配 当 金	259,775	
そ の 他	7,880,532	8,140,307
【営業外費用】		
支 払 利 息	26,735,174	
支 払 手 数 料	1,984,272	
雑 損 失	604,983	29,324,429
経 常 損 失		116,260,781
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	181,352,095	181,352,095
税 引 前 当 期 純 損 失		297,612,876
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		283,100
当 期 純 損 失		297,895,976

# 株主資本等変動計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位:円)

	株 主 資 本									純資産合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利益準備金	利 益 剰 余 金			株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 55,918,356	14,581,644	318,381,644	318,381,644
当期変動額										
当期純損失							△ 297,895,976	△ 297,895,976	△ 297,895,976	△ 297,895,976
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	△ 297,895,976	△ 297,895,976	△ 297,895,976	△ 297,895,976
当期末残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 353,814,332	△ 283,314,332	20,485,668	20,485,668